

Sutrum

シュトルム

第11号 平成23年3月31日発行

3月11日に起こった大震災の波紋は20日経った今でもとどまることなく広がり続けています。皆様の生活の上にも多くの影響が及んでいることとお察し致します。Sutrumは予定より遅れての発行となり、今年度最後の締めくくりとして、コンサートのご報告をさせていただきます。

はじめに

この度の東日本大震災で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。会員の皆様におかれましても、ご家族、ご親戚、ご友人が被害に遭われたかもしれません。また、首都圏に住む私達にとっても物不足や原発事故による様々な影響で生活がおびやかされています。心安らげる暮らしが早く戻りますようにと願わずにはおれません。

実は、今号は伊都さんのメールの送受信に不都合があり、大変申し訳ありませんが「近況報告」と「クラシック講座」の原稿を掲載することができませんでした。ただ、イギリスでの伊都さんの様子を伝え聞くとところによると、地震後すぐに「日本がんばれ、東北がんばれ」と書かれた“日の丸”が大きく新聞に掲載され、その“日の丸”の切り抜きが町中に貼られたとのことでした。

伊都さんが町を歩いている、たくさんの見ず知らずの人が「家族は大丈夫か？」と声をかけてくれたとか。他国の方がそんなに心を痛め、励ましてくれるのを知ると、日本人である私達はなおさら被災された方々に何か間接的にでもできることはないかという気持ちになります。

たとえ大きな不幸でも、日本のみならず世界中の人と人との絆が強まることで、得られるものも大きいと信じていたいものです。

第8回 加納伊都ヴァイオリンリサイタル

昨年12月21日、横浜みなとみらい小ホールにおいて「第8回加納伊都ヴァイオリンリサイタル」が開催されました。

演奏曲目はモーツァルト、ブラームス、プーランクの「ヴァイオリンソナタ」、サラサーテの「カルメン幻想曲」と多彩な選曲でした。

伊都さん自身も「前半をクラシカルに、後半をエネルギッシュに、ヴァイオリンという楽器が本当にいろいろな声を持っていることを楽しんでいただければと思います。」と述べている通り、モーツァルト、ブラームスは心地よい王道クラシック、プーランク、サラサーテは繊細さと熱情の両方を伊都さんらしく豊かに表現してくれました。ピアニストの荒井裕子さんとも3年目の名コンビ。細部まで呼吸が合うところはさすがです。

当日は夕刻からあいにくの雨模様で、終演の頃には雨足が一層強くなり、帰り道では皆さんさぞご苦労されたことと思います。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



ピアニスト荒井裕子さんと



ピアニスト近藤紗織さんと



ベーリックホールコンサート

1月29日、第5回横浜山手芸術祭のオープニングコンサートとして「加納伊都ヴァイオリンコンサート～ヨーロッパからの手紙～」がベーリックホールで開催されました。ベーリックホール前館長布川栄子さんのお話によると、山手西洋館にふさわしいイベントを企画したいと思い、当時桐朋高校2年生だった伊都さんにコンサートを依頼したのが、現在の山手芸術祭など様々な芸術的な催しのはじまりだったとのこと。今回のコンサートでは奇しくも、その時ピアノを弾いてくれた近藤紗織さんとのコンビ復活に「二人ともこんなにビッグな演奏家に成長されるとは、感無量です。」と布川さん。その様子と演奏は当日取材に来ていたニッポン放送のラジオ番組でも流れました。

演奏曲はバッハ「G線上のアリア」、ドビュッシー「月の光」など小品12曲と、曲にまつわる伊都さんの解説が入り、また、休憩時間の軽食やホットワインなどのおもてなしも加わって、心も体もすっかり温まった冬の夜でした。



DVDクラシックコレクション

第8回 「オーケストラ！」

2009年フランス
寄せ集め楽団が巻き起こす感動の物語

- **ストーリー** 30年前旧ソ連時代の圧政下で解雇された天才指揮者アンドレイは、今は落ちぶれ、ポリショイ交響楽団の清掃員として働いていた。ある日清掃中の部屋にパリ公演依頼のFAXが届き、アンドレイは、かつての仲間を集めて偽の楽団員に成りすまし、パリで晴れ舞台に立とうと思いつく。
- **見どころ** たった2週間で50人を超えるかつての仲間を集めることになるが、東欧ユダヤ人やロマが多く、貧乏だがユーモアやバイタリティに溢れている。彼らの描写がコメディタッチで生き生きとしておもしろい。ソリストに指名したフランスの美人ヴァイオリニストは実は・・・
- **感想** ただでさえ感動するお馴染みの「チャイコフスキーヴァイオリン協奏曲」が晴れ舞台の演奏曲。ラストで明かされる隠されたストーリーと相まって、オーケストラ全員の心が一つになるところは感動的で見ると価値あり。でもでも、演奏中のソリストの体の動きがあまりなく、吹き替えのソロももっとダイナミックな演奏でもいいのにちょっと残念・・・と思ってしまうのは、間違いなく伊都さんの演奏を見なれ、聴きなれてしまったから！
見終わってしばらくは、あの曲の主題が頭の中でずっと回って離れない。

*DVDはTSUTAYAの店舗でレンタル可能な作品のみをご紹介します。

災害義援金協力のお知らせ

後援会では毎年一回、伊都さんを囲んでの親睦会を開催しておりますが、平成22年度は伊都さんのスケジュールとの調整がつかず見送りとなりました。そこで親睦会のために準備していた1万円から2万円程度を、今回の震災の義援金として日本赤十字社に「加納伊都後援会」の名義で寄付したいと考えておりますので、ご了承をお願いいたします。金額の詳細等は平成22年度の決算で明らかになりますので、会計報告の際に合わせてご報告致します。

編集後記

震災の日私は静岡県に車で遠出をしており、帰路、通行止めになった東名高速を諦め、国道の大渋滞に巻き込まれました。家族との連絡もままならず不安な気持ちでいたところ、FMラジオの地震情報の合間に流れる穏やかなクラシック音楽に心を癒されました。「タイスの瞑想曲」のヴァイオリンの音色はスーッと心を落ち着かせ、心臓の鼓動を抑えてくれ、改めてクラシック音楽の素晴らしさを実感しました。/あの日から慌ただしく3月が過ぎ、気がつけば桜の花がチラホラと咲く季節に…/心の余裕を取り戻しながらも現状を正しく見つめる目を持ちたいものです。
< ゆ >

発行：加納伊都後援会 T R A U B E N

〒231-0835 横浜市中区根岸加曾台 15
TEL：045-622-6780
FAX：045-621-6423
Email：itoviolin-kouen@ac.auone-net.jp
Homepage：http://www.ito-vn.jp/